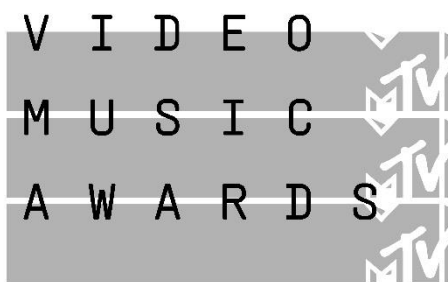


ニュースリリース



2015年7月22日

バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社

全米最大級の音楽授賞式「MTV VIDEO MUSIC AWARDS」

8月30日（米・現地時間）開催、ノミネーション発表！

MCにマイリー・サイラスが決定！！

MTV Japanで8月31日（月）夜9時放送

世界最大級のユース向け音楽&エンターテインメント・チャンネル「**MTV**」は、8月30日（現地時間）に米ロサンゼルスのマイクロソフト・シアター（旧ノキア・シアター・LA・ライブ）で開催する「**2015 MTV Video Music Awards**（エム・ティー・ヴィー・ビデオ・ミュージック・アワード、以下 VMA）」の**ノミネーション作品を発表**しました。年間の最も優れたミュージックビデオやアーティストを決定する授賞式として 1984 年に始まった VMA。今年は、**テイラー・スウィフト**が 9 部門、**エド・シーラン**が 6 部門、**ビヨンセ**が 5 部門にノミネートされています。

また、昨年の VMA で「最優秀ビデオ賞」に輝いた**マイリー・サイラス**が、エイリアンに扮した写真を自身のInstagramに掲載することで本年度の MC となることが発表されました。胸に掲げたボードには、「MTV が私にパフォーマンスさせてくれないの」、「だから今年の VMA では司会をやることにしたわ」と書かれています。VMA では賞の発表のほかにも豪華アーティストによるパフォーマンスが話題となりますが、マイリー・サイラスの MC ぶりにも今年は注目が集まります。

VMA は現地時間 8 月 30 日（日）21 時よりロサンゼルスのマイクロソフト・シアターにて開催され、全米に生中継されます。その後、日本を含む世界 6 億世帯以上の MTV 視聴者の元へ届けられ、MTV Japan では日本時間・8 月 31 日（月）20 時からレッドカーペットショー、21 時から本編を放送する予定です（※日本語字幕なし、日本語字幕版は 9 月 5 日に放送予定）。



「最優秀ビデオ賞」をはじめとする一般カテゴリー 9 部門への投票は、米国 MTV の公式ウェブサイト www.mtv.com/ontv/vma/（※英語サイト）にて受付を開始しました（日本からの投票は不可）。

MTV Japan 放送予定

▼日本語字幕なし

2015 MTV Video Music Awards Main Show : 8月31日(月) 21:00-23:00

2015 MTV Video Music Awards Pre-Show : 8月31日(月) 20:00-21:00

▼日本語字幕あり

2015 MTV Video Music Awards Main Show: 9月5日(土) 19:00-21:00 他

2015 MTV Video Music Awards Pre-Show: 9月5日(土) 18:00-19:00

2015 MTV Video Music Awards ノミネーション一覧

▼一般カテゴリー

<最優秀ビデオ賞/VIDEO OF THE YEAR>

Beyoncé - "7/11"

Ed Sheeran - "Thinking Out Loud"

Taylor Swift ft. Kendrick Lamar - "Bad Blood"

Mark Ronson ft. Bruno Mars - "Uptown Funk"

Kendrick Lamar - "Alright"

<最優秀男性アーティスト・ビデオ賞/BEST MALE VIDEO>

Ed Sheeran - "Thinking Out Loud"

Mark Ronson ft. Bruno Mars - "Uptown Funk"

Kendrick Lamar - "Alright"

The Weeknd - "Earned It"

Nick Jonas - "Chains"

<最優秀女性アーティスト・ビデオ賞/BEST FEMALE VIDEO>

Beyoncé - "7/11"

Taylor Swift - "Blank Space"

Nicki Minaj - "Anaconda"

Sia - "Elastic Heart"

Ellie Goulding - "Love Me Like You Do"

<最優秀ヒップホップ・ビデオ賞/BEST HIP HOP VIDEO>

Fetty Wap - "Trap Queen"

Nicki Minaj - "Anaconda"

Kendrick Lamar - "Alright"

Wiz Khalifa ft. Charlie Puth - "See You Again"

Big Sean ft. E-40 - "IDFWU"

<最優秀ポップ・ビデオ賞／BEST POP VIDEO>

Beyoncé – “7/11”
Ed Sheeran – “Thinking Out Loud”
Taylor Swift – “Blank Space”
Mark Ronson ft. Bruno Mars – “Uptown Funk”
Maroon 5 – “Sugar”

<最優秀ロック・ビデオ賞／BEST ROCK VIDEO>

Hozier – “Take Me To Church”
Fall Out Boy – “Uma Thurman”
Florence + the Machine – “Ship To Wreck”
Walk the Moon – “Shut Up and Dance”
Arctic Monkeys – “Why'd You Only Call Me When You're High?”

<アーティスト・トゥ・ウォッチ *presented by Taco Bell*®>

Fetty Wap – “Trap Queen”
Vance Joy – “Riptide”
George Ezra – “Budapest”
James Bay – “Hold Back The River”
FKA Twigs – “Pendulum”

<最優秀コラボレーション賞／BEST COLLABORATION>

Taylor Swift ft. Kendrick Lamar – “Bad Blood”
Mark Ronson ft. Bruno Mars – “Uptown Funk”
Wiz Khalifa ft. Charlie Puth – “See You Again”
Ariana Grande & The Weeknd – “Love Me Harder”
Jessie J, Ariana Grande, Nicki Minaj – “Bang Bang”

<ソーシャルメッセージビデオ賞／VIDEO WITH A SOCIAL MESSAGE>

Jennifer Hudson – “I Still Love You”
Colbie Caillat – “Try”
Big Sean ft. Kanye West and John Legend – “One Man Can Change the World”
Rihanna – “American Oxygen”
Wale – “The White Shoes”

▼プロフェッショナル・カテゴリー

<最優秀アートディレクション賞／BEST ART DIRECTION>

Taylor Swift ft. Kendrick Lamar – “Bad Blood” (*Charles Infante*)
Snoop Dogg – “So Many Pros” (*Jason Fijal*)

Jack White – “Would You Fight For My Love” (*Jeff Peterson*)
The Chemical Brothers – “Go” (*Michel Gondry*)
Skrillex & Diplo – “Where Are U Now” with Justin Bieber (*Brewer*)

<最優秀振付賞／BEST CHOREOGRAPHY>

Beyoncé – “7/11” (*Beyoncé, Chris Grant, Additional choreography: Gabriel Valenciano*)
OK Go – “I Won’t Let You Down” (*OK Go, air:man and Mori Harano*)
Chet Faker – “Gold” (*Ryan Heffington*)
Ed Sheeran – “Don’t” (*Nappy Tabs*)
Flying Lotus ft. Kendrick Lamar – “Never Catch Me” (*Keone and Mari Madrid*)

<最優秀撮影賞／BEST CINEMATOGRAPHY>

Flying Lotus ft. Kendrick Lamar – “Never Catch Me” (*Larkin Sieple*)
Ed Sheeran – “Thinking Out Loud” (*Daniel Pearl*)
Taylor Swift ft. Kendrick Lamar – “Bad Blood” (*Christopher Probst*)
FKA Twigs – “Two Weeks” (*Justin Brown*)
Alt-J – “Left Hand Free” (*Mike Simpson*)

<最優秀監督賞／BEST DIRECTION>

Taylor Swift ft. Kendrick Lamar – “Bad Blood” (*Joseph Kahn*)
Mark Ronson ft. Bruno Mars – “Uptown Funk” (*Bruno Mars & Cameron Duddy*)
Kendrick Lamar – “Alright” (*Colin Tilley & The Little Homies*)
Hozier – “Take Me To Church” (*Brendan Canty and Conal Thomson of Feel Good Lost*)
Childish Gambino – “Sober” (*Hiro Murai*)

<最優秀編集賞／BEST EDITING>

Beyoncé – “7/11” (*Beyoncé, Ed Burke, Jonathan Wing*)
Ed Sheeran – “Don’t” (*Jacquelyn London*)
Taylor Swift ft. Kendrick Lamar – “Bad Blood” (*Chancler Haynes at Cosmo Street*)
A\$AP Rocky – “L\$D” (*Dexter Navy*)
Skrillex & Diplo – “Where Are U Now” with Justin Bieber (*Brewer*)

<最優秀視覚効果賞／BEST VISUAL EFFECTS>

Taylor Swift ft. Kendrick Lamar – “Bad Blood” (*Ingenuity Studios*)
FKA Twigs – “Two Weeks” (*Gloria FX, Tomash Kuzmytskyi, and Max Chyzhevskyy*)
Childish Gambino – “Telegraph Ave.” (*Gloria FX*)
Skrillex & Diplo – “Where Are U Now” with Justin Bieber (*Brewer*)
Tyler, The Creator – “F***** Young/Death Camp” (*Gloria FX*)

#

【MTV Video Music Awards (VMA)】

全米最大規模の音楽授賞式。1984年の初開催以来、MTVが総力を挙げて開催する一大イベントで、年間の最も優れたミュージックビデオやアーティストを決定する授賞式として、アメリカでは絶大な権威を築いています。グラミー賞と並ぶ栄誉を誇るとも言われるこのアワードが他の音楽祭典と一線を画す最大の特徴は、ポップカルチャー史に残る伝説的な瞬間を数多く生み出してきた点。マドンナ、マイケル・ジャクソン、ガンズ・アンド・ローゼズ、エミネム、ニルヴァーナからブリトニー・スピアーズ、カニエ・ウェスト、ビヨンセ、テイラー・スウィフト、マイリー・サイラスに至るまで、VMAのステージに立ってきた多くのトップアーティストにとって、自身のキャリアを一夜にして変えてしまうようなイベントはVMAをおいて他にありません。音楽シーンはもちろん各界のセレブリティが多数集結し、華やかなレッドカーペットからサプライズ連続の授賞式まで、全米視聴者の目を釘づけにする一大エンターテインメント・ショーの様子は、米国MTVを通じて全米に生中継されるほか、世界中のMTVチャンネルを通じて合計6億世帯を超える視聴者の元へ届けられます。

【MTV】



MTVは、160カ国以上で5億世帯を超える視聴者の方に愛されている世界最大級の音楽&エンターテインメント専門チャンネルです。1981年にアメリカで誕生し、24時間ミュージックビデオを放送する「MUSIC TELEVISION」=「MTV」としてスタート。ミュージックビデオを単なる宣伝ツールから革新的な映像作品へと押し上げ、数々の才能豊かなアーティストやクリエイターとともに新たな音楽シーンを創り上げてきました。世界中のユースカルチャーをリードするブランドだからこそ、お届けするコンテンツはまさに無限大。世界中から選び抜かれた数々の人気番組が日本にいながらにしてハイクオリティな映像で楽しめます。ポップミュージックファン必見のアワードショー、国内外で開催された熱狂のライブや音楽フェスティバルの独占収録映像、トップアーティストが赤裸々に自身を語るインタビューやドキュメンタリー、そしてもちろん日本オリジナル制作のレギュラー番組や、洋邦、新旧、ヒット曲からコアなアーティストまで、さまざまなシーンのミュージックビデオが続々登場する番組も満載。日本中の音楽ファンに世界最先端のエンターテインメントをお届けします。

視聴方法：<http://www.mtvjapan.com/onair/watch>

バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社】



バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社は、世界的メディア企業であるバイアコム (Viacom) グループ、バイアコム・インターナショナル・メディア・ネットワークス (VIMN) の日本法人です。バイアコム・ネットワークス・ジャパン合同会社と一つの事業体制で世界最大級のユース向け音楽&エンターテインメント・ブランド「MTV」を運営し、テレビを中心にデジタルメディアを含むマルチプラットフォームで良質なコンテンツを提供しています。テレビにおいては、ケーブルテレビ、CS、IPTV向けに番組を供給し、日本における視聴可能世帯数は約700万(2015年3月末現在)。洋楽・邦楽の最新ヒットチャート、ビッグアーティストの独占映像やライブ映像など、世界中で展開するネットワークを生かした音楽やアーティスト関連の多彩なコンテンツを、日本オリジナル編成で24時間放送中です。2009年10月から「MTV HD」を、2012年12月からはスカパー!でもハイビジョン放送を開始しました。また、テレビ関連事業と並行して、VIMNが所有するメディアブランドを活用した広告販売事業、「スポンジ・ポップ」等のニコロデオ・コンテンツや「USAVICH (ウサビッチ)」を中心としたライセンス事業(商品化およびプロモーション契約など)、番組販売事業などを展開しています。さらに、若者の支持を得るメディアブランドとして、地球温暖化やHIV/AIDSなどの社会問題に対しても、日本の若者の意識を啓発しアクションをサポートする活動にも取り組んでいます。2014年12月1日にMTV Networks Japan株式会社より社名変更しました。

★本件に関する報道関係の方からのお問合せ先★

バイアコム・ネットワークス・ジャパン(株)

マーケティング部 田中 / Tel: 03-6870-7691 E-mail: pr@vimn.com

★「MTV」に関する一般の方からお問い合わせ先★

MTV HOTLINE Tel: 03-6361-1149 (オペレーター対応 平日 10:00~18:00)